

令和3年度 社会福祉法人弥生福社会 事業計画

(法人を取り巻く現状)

日常生活を含む経済活動を様変わりさせた新型コロナウイルス感染症は、発症確認から一年以上を経た現在も世界の感染拡大が止まらず、終息の見通しが立たない状況にある。

国内においても、昨年4月の全国一斉発令に続き、今年1月には感染拡大が続く地域を限定した「緊急事態宣言」が再発令されるなど、国を上げての感染防止対策が実行されてきた。

こうした中、当法人の活動においても、小中学校の臨時休校などによる保育園での「限定保育」をはじめ、学童施設では開所時間を繰り下げるなど、はじめての経験に対応してきました。

また、感染拡大が続く中、子どもたちは、手洗いの励行や消毒の習慣付けにつながった一方、各行事のあり方については多くの思慮を伴い、行事の中止や規模の縮小、開催要領の変更、延期などにより、通常年とは大きく異なる1年となりました。

今年は、待望していたワクチンの承認がなされ、世界中で接種がはじまり、コロナ克服に向け、世界中が動き出しました。

保育園においても、一刻も早く日常が戻り、子どもたちが笑顔で活発に活動できる年になることを願っています。

令和3年度の事業計画について

前述したとおり、新型コロナウイルス感染症は、世界レベルで対策が進められていますが、今後の情勢について、私たちが的確に見通すことは困難であり、新年度の保育や行事については、感染症拡大の推移を見極めつつ、臨機応変な対応が求められてくるものと考えています。

はじめに、保育を取り巻く状況が況についてですが、経済基盤や雇用の不安定性、未婚率の上昇などもあり、合計特殊出生率が年々減少し、近年は横ばい乃至下降状況にあり、国が描く未来の姿と国民の感覚に大きな乖離が見られると考えます。

こうした中、令和元年10月の幼児教育の無償化はじめ、女性の就業率向上などから、今後、幼児教育・保育への期待が高まると思われ、待機児童対策などの受け皿確保に向けた取り組みなどの推進とともに、子ども・子育て支援の充実が図られてくるものと考えています。

また、「子ども・子育て支援新制度」の制度制定5年後の見直しも行われ、今後、制度内容の改正などが示された場合、的確な情報収集と適切な対応に万全を期して参ります。

保育指針についても、2017年に改定され、保育所における保育の内容及び関連する運営に関する事項について、保育の質の確保・向上はじめ、子どもの健康支援、食の提供、安全管理、保育所が行う子育て支援の役割、職員の資質向上などが規定され、各種ガイドラインも踏まえ対応してまいります。

このほか、職員の処遇改善に引き続き取り組むとともに、保育や職員会議の効率的あり方、働き方改革などについて、職員全員の情報共有や議論により改革を進めて参ります。

さらに、老朽化している「ひばり保育園」の建替えに向けた改築計画の策定に向け、関係機関との協議や改築に係る制度などの情報収集に本格的に取り組んでいきます。

新年度も保育士等の自己都合により、数名の退職が見込まれており、その補充のため、新規職員を雇用しますが、先輩保育士の指導や研修などの受講により、十分な知識やスキル習得に努めていきます。

法人が運営する3つの保育園、一つの学童については、それぞれが自立した運営を目指し、一層の経営改革を進めるとともに、3園の職員交流を進めていきます。

学童においても、保護者の就労を支援するため、安心した居場所づくりに努めていきます。

予算などの主な点について

- 保育園運営費については、公定価格に従った予算とし、学童運営費は、指定管理料などを計上しました。
- 職員給与につきましては、国の人事院勧告に準じ計上したほか、手当の支給について、一部を見直し計上しました。
- 退職者補充のため、新規職員を採用し、保育園の円滑な運営に努めます。

別紙

令和3年度 理事会等開催予定

自主監査（会場：法人本部）

- 5月20日（木） 令和2年度決算
- 8月19日（木） 令和3年度第1四半期会計、業務
- 11月11日（木） 令和3年度第2四半期会計、業務
- 2月17日（木） 令和3年度第3四半期会計、業務

理事会（会場：法人本部）（出席者：理事、監事）

- 5月28日（金） 令和2年度事業報告、令和2年度決算、監査報告、役員の選任候補者の推薦案、
評議員選任解任委員の選定案、評議員の選任候補者の推薦案、評議員会議案
- 6月14日（月） 理事長選定
- 10月22日（金） 令和3年度前期事業報告
- 3月15日（火） 令和4年度事業計画、令和4年度予算、規程改正、評議員会議案

評議員会（会場：法人本部）（出席者：理事、評議員、監事）

- 6月14日（月） 令和2年度事業報告、令和2年度決算、役員選任
- 3月23日（水） 令和4年度事業計画、令和4年度予算

評議員選任・解任委員会（会場：法人本部）（出席者：理事長、評議員解任・選任委員）

- 6月14日（月） 評議員の選任

新年会（会場：未定）（出席者：理事、監事、評議員、評議員選任・解任委員、職員）

- 1月21日（金）

(あじさい保育園の現状)

4月当初園児129名からのスタートを切り、その後、在園児の兄弟である0歳児の入所が増え、3月末137名の園児が登園している。支援が必要なお子さんへの対応のため、クラス職員の増加や子どもの入所の調整を行うことがあり、保育環境の工夫や職員同士の連携が問われている状況にある。新型コロナウイルス感染症への対応に追われ、日常生活の見直しや行事の中止、縮小、が余儀なくされたが、その都度、保育の在り方について職員と話し合う機会が多く持つことができた。

保護者との連携では、昨年度、親子行事がほとんど中止となり、例年のような密な関わりや連携が若干希薄になったような状況も見受けられる（入園式の形が変化し、担任との顔合わせもままならなかった）。改めて、日々子どもたちの様子を様々な形で発信していくことの大切さを感じた。

I. 多様化する保育ニーズに応える保育園

1. あじさい保育園年齢別保育内訳

年齢区分	令和3年度	令和2年度	
	4月当初	4月当初	3月末
0歳児	3	7	15
1歳児	20	17	17
2歳児	24	23	23
3歳児	28	26	26
4歳児	27	26	26
5歳児	26	30	30
合計	128	129	137
定員比	107%	108%	114%

2. 保育の在り方～別添「社会福祉法人 弥生福祉会 ほいく」

3. 支援センターの在り方～別添「帯広市地域子育て支援センターあじさい チラシ」

新型コロナウイルス感染症の対策として利用者の人数制限も重なり、戸外遊びを親子に勧めていく中で、親子が園庭や散歩に出かける姿が多く見受けられたことから、今後も戸外遊びの大切さも利用者に伝えていくことにより、子どもたちの心と身体の成長にとっても重要であることを更に伝えていきたいと考えている。また、赤ちゃんを出産してからの母親の不安を聞くことが多くなったことから、0歳児が主に利用できるびよびひろばの充実を図っていきたい。

II. 職員の質の向上

1. 職員～別表1「職員体制」

正職員が2名不在の中（産休育休1名、育休1名）、2名の新しい職員を迎え、改めて職員同士のチームワークが求められる年度となる。保護者への不安を取り除き、信頼へとつなげていくた

めには、職員同士の連携（パート職員も含め）が大切であることを日々の話し合い、会議の中で確認しあいながら、積み重ねていきたい。また、主任保育士を支える中堅職員の役割を明確にし、保育園全体の課題をみんなで共有し創り上げていきたい。

2. 研修～別表2「研修計画」

昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により研修が中止やリモート研修となり、研修を受ける機会が少なかったことから、今年度はリモート研修も含め、園内研修などを積極的に受講できる環境を考えていきたい。

Ⅲ. 災害に備えて

帯広市の災害マニュアルを基に「災害マニュアル」を作成。災害に備える準備などを進めていき、園児、職員と避難訓練などを実施し意識を高め、保護者へも保育園の取り組みを伝え、各家庭との連携の在り方も伝えていく。昨年度途中から導入した「一斉メール」の扱いなど職員、保護者共に使い慣れていくような発信が必要と考えている。

Ⅳ. 地域等連携（感染症の状況を踏まえながら）

1. 地域との交流

支援センター「みんなのひろば」への呼びかけとして、卒園児の祖父母や町内会の方々への声掛けを行っていき、世代間の交流を継続していきたい。また、保育園が町内会行事へ参加したり、保育園行事へ地域の方をお誘いし、地域の中にある保育園として支えていただける環境を整える。近くの事業所（グループホームや支援事業所）との交流も継続していく。

2. 幼保小中連携

小学校との連携として、長い歴史の中で大切にしてきた光南小学校との交流（年4回）は今後も行っていき、小学校への引き継ぎやエリア研修会への参加（近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校の職員との交流）を積極的に行っていく。

3. 祖父母との関わり

在園や卒園した祖父母、またシルバー人材センターの方々へ行事（収穫祭、餅つき）の参加と交流を図っていき、地域の子どもたちを支えていただく環境づくりをしていく。

4. 保育士養成支援

年数回、短期大学、養成校の実習生や学生アルバイトの受け入れを行う中で、保育士養成として指導を行っていく。

Ⅴ. 年間行事会議スケジュール～別表3

(こでまり保育園の現状)

こでまり保育園は、弥生福祉会が運営を開始してから19年目を迎えます。

設置以来、「保育理念」のほか、「ほいく」に掲げた「運営方針」及び「保育目標」に基づき、「未来を拓くたくましい人」づくりを実践しています。

現在は、通常保育に加え、一時保育、地域子育て支援センターを開設し、働く保護者の支援のほか、子育て中の保護者のリフレッシュ、お母さん同士の情報交換、仲間づくりへの支援、子育て情報の提供や相談などに応じ、地域の子育て拠点の役割を果たしてきています。

定員は90人ですが、現在0歳～5歳児までの108人の乳幼児が登園しています。

職員は、園長はじめ、主任保育士に加え、14人の正職員保育士と栄養士1名、パート職員25名が在籍し、うち給食調理員3名、清掃1名で運営しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大から、園行事の中止や縮小、延期など、大きな影響を受けましたが、早期の終息により日常が戻り、園行事も予定どおり開催できることを願っています。

I. 多様化する保育ニーズに応える保育園

1. こでまり保育園年齢別保育内訳

年齢区分	令和3年度	令和2年度	
	4月当初	4月当初	3月末
0歳児	7	8	13
1歳児	17	16	16
2歳児	19	19	19
3歳児	21	20	20
4歳児	19	20	20
5歳児	20	20	20
合計	103	103	108
定員比	113%	114%	120%

2. 保育の在り方～別添「社会福祉法人 弥生福祉会 ほいく」

3. 支援センターの在り方～別添「帯広市地域子育て支援センターこでまり チラシ」参照

4. 一時保育事業

こでまり保育園では、家庭で過ごす親子や保育園を利用していない親子のうち、突発的な事情（病気入院やお産など）や社会参加、就労などにより、一時的に家庭での保育が困難になる場合のほか、育児疲れによる保護者の心理的・身体的な負担軽減のため、1日又は時間単位により乳幼児を預かる保護者支援として、一時保育事業を実施しています。

対象は、1歳児から5歳児までの乳幼児で、1日の受け入れ限度は15人とし、緊急児童が出た場合は、15人を超えて受入する場合があります。

普段、他人との集団での生活を経験していな子どもたちにとって、保護者以外にここが「場所と人に慣れる場」であり、「楽しい場」になるよう、そして、保護者の事情に応えられるよう事業運営に努めて参ります。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、4月20日から5月31日までの間、一時保育事業を休止したため、例年をやや下回る結果となりました。

II. 職員の質の向上

1. 職員～別表1「職員体制」

入園児数や一時保育事業、地域子育て支援センターなど、保育園の円滑な運営に対応できる体制としていきます。

今年度も退職者補充や人事異動、クラス担任替えなどにより、新人職員の加入や異動者により一部職員体制が変わります。このため、職員が一刻も早く職場に馴染み、保育業務の習熟、保護者とのコミュニケーションの活性化、パート職員を含めた全職員同士の連携を深め、保護者の信頼の醸成に努めていきます。

また、人との関係で最も基本的で重要な「あいさつ」や「電話対応」、「人への気遣い」など、社会人として身につけるべき接遇について、園内での指導とともに外部講師による研修などを実施します。

日常保育を通しては、「子ども」を中心にして、職員全員が子どもの思いや願いを受け止め、子ども一人ひとりの発達過程に応じた保育を実践します。

職員は、保育の現場を通して、専門性を磨くとともに、子どもたちの成長の記録や振り返り、評価をし、よりよい保育になるよう改善に心掛けていきます。

こうした保育の充実には、職員の働く意欲にインセンティブが重要であり、引き続き、給与の改善など、職員が働きやすい環境の整備に取り組んでいきます。

2. 研修～別表2「研修計画」

保育士は、保育の専門者として、保育の質の向上のため、知識やスキルアップが求められています。

保育に係る考え方やガイドラインなども進化や変更があり、そうした情報をいち早く学び、吸収・共有することが、保育の質の向上につながり、個人の評価を高めることにもつながると考えます。

研修を通して、他の現場を知り、専門家との情報共有と学び合いの場づくりを進めます。

III. 災害に備えて

地球温暖化が原因とされる豪雨災害、突風などの異常気象災害が、世界規模で頻発し、国内においても、未曾有の大規模な自然災害が毎年発生しています。

また、地震発生は予測が難しいが、被害が大規模、広汎にわたる恐れがあり、日頃からの備えが重要です。

このため、災害の種類・質にそった対応マニュアルを作成するとともに、毎月第2金曜日に、災害に備えた避難訓練などを繰り返し行い、万が一の場合に適切に対処できるよう備えています。

また、保育園所在地は、市のハザードマップによる浸水の恐れも示されているため、自治体の避難指示に従った園児の安全確保に備えていく必要があります。

IV. 地域等連携

1. 地域との交流

保育園は、通常保育に加え、地域との連携や地域の子育て世代への支援の役割があります。

保育園周辺は、住宅や高齢者介護施設などがあり、これまで同様、地域の一員として町内会やこれら施設との交流を進めます。

また、卒園期ごとの卒園児との交流や保育ボランティアの受け入れなど、多様な交流に努めていきます。

さらに、「3. 支援センターの在り方」にも記載しているとおり、支援センターが開設している様々な広場への来所を周知し、子育てに対する様々な相談などに対応していきます。

2. 幼保小中連携

地域に存在する三小学校や一中学校、保育園などとの幼保小中連携事業に参加し、幼児期の教育と小学校教育の円滑な接続のため、共同して交流事業を進めます。

また、近隣小学校の授業参観など、体験交流を進めます。

健康な心と体、自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、言葉による伝えあい、豊かな感性と表現など、これからの時代を生きていくために必要となる資質、能力を涵養していきます。

3. 祖父母との関わり

在園児や卒園児の祖父母で構成するボランティア「おおでまりの会」による畑づくりや環境整備、餅つきなど歳時行事への参加と交流を進めるとともに、祖父母の智恵を学ぶ機会を継続していきます。

また、読み聞かせ、おもちゃ修理などのボランティアの皆さんにもお手伝いをいただき、おもちゃなどを大切に作る心を育てていきます。

4. 保育士養成支援

保育士の有効求人倍率は、他業種平均の2倍強となっており、今後の「新子育て安心プラン」の達成のためにも保育人材の確保・育成が大きな課題となっている。

このため、保育士養成校からの実習生受け入れ要請に積極的に対応し、保育士養成に寄与できるよう努めていきます。

V. 年間行事会議スケジュール～別表3

(ひばり保育園の現状)

民間移管後2年が経過し、保護者からのご意見や要望などを受け止めながら、少しずつ保育への理解を得られるようになってきている。職員も日々子どもの様子や保育について、お便りや対話などを通して丁寧に伝えられるよう努力している。

コロナ禍の中で、年間通して行事や日々の保育が制限されることも多かったが、できる限り子ども達の活動を保障できるよう工夫しながら取り組んできている。感染予防については今後も感染拡大防止に努めていきたい。

要支援児や特別支援児も増えており、一人一人の対応が必要とされることも多く、保育の工夫や保護者対応などは、ますます難しい面も増えている。

I. 多様化する保育ニーズに応える保育園

1. ひばり保育園年齢別保育内訳

年齢区分	令和3年度	令和2年度	
	4月当初	4月当初	年度末
0歳児	4	3	11
1歳児	15	15	15
2歳児	16	14	16
3歳児	19	17	17
4歳児	19	18	17
5歳児	19	16	18
合計	92	83	94
定員比	102%	92%	104%

2. 保育の在り方～別添「社会福祉法人 弥生福祉会 ほいく」

II. 職員の質の向上

1. 職員～別表1「職員体制」

法人の異動や新しい職員を迎え、保護者への不安を取り除き、信頼へとつなげていくためには、職員同士の連携（パート職員も含め）が求められている。また、基本的な「あいさつ」「電話での対応」「人への気遣い」など社会人としての基本的な要素が足りないことでの職員への不信、不安にもつながり、日常保育の積み重ねが土台となって質の向上が成り立つことから、そのための研鑽、各々の立つ位置、研修の在り方、会議の在り方など創意工夫をしていきたい。

2. 研修～別表2「研修計画」

昨年度はコロナ禍の中で研修が中止になることも多く、リモート研修という形で行われたが、やはり研修を受ける機会は減ってしまった。今年度はリモート研修を含め、園内での研修など積

極的に受けられる受講環境を工夫し考えていきたい。

Ⅲ. 災害に備えて

帯広市の災害マニュアルを基に「災害マニュアル」を作成。災害に備える準備などを進めていき、園児、職員と避難訓練などを実施し意識を高め、保護者へも保育園の取り組みを伝え、各家庭との連携の在り方も伝えていく。

Ⅳ. 地域等連携

1. 地域との交流

- ・「あそびのひろば」への呼びかけ
- ・町内会行事への参加と保育園行事へのお誘い
- ・近くの事業所（グループホームや支援事業所）との交流

2. 幼保小中連携

- ・北栄小学校との交流（年4回）
- ・エリア研修会への参加（近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校の職員との交流）

3. 祖父母との関わり

- ・在園や卒園した祖父母の方々へ行事（収穫祭、餅つき）の参加と交流

4. 保育士養成支援

- ・年数回、短期大学、養成校の実習生の受け入れをしている。

Ⅴ. 年間行事会議スケジュール～別表3「年間行事会議予定」

令和3年度 事業計画

東エリア児童保育センター

(東エリア児童保育センターの現状)

平成27年度から全学年対象になることが保護者に浸透し、毎年4年生以上の児童の入所希望者が増えてきている。平成30年度には柏及び光南児童保育センターの分室が増設されたこともあり青葉児童保育センターを含めた3施設9クラブでは対応できているが、東児童保育センターでは、ここ数年間数名の待機児童が出ている状況である。

また、今まで固有の資格がないまま放課後児童支援員として保育に携わってきた支援員に、国家資格に準ずる「資格」を与えるため、放課後児童支援認定資格研修が行われ、この間、東エリアの職員22名が有資格者になり、令和2年度は、新任1名が受講をしているので、全支援員が「資格」を有することになった。今後、受講者が減る傾向にあり、道内のどこで研修が開催されるかが課題となる。

なお、昨年から小学校の長期休業が3日間短縮されたことにより、夏・冬の行事の見直しをしていかなければならなくなった。

様々な不安要素があるが児童保育センター事業としては、従来通り、学校から帰ってきて「ホッと」できる場所にしていきたいと考えている。

I. 多様化する保育ニーズに応える保育園

1. 東エリア児童保育センター年齢別内訳～別表1
2. 保育の在り方～別紙

II. 職員の質の向上

1. 職員～別表2「令和3年度児童保育センター職員体制」

新制度になり、支援員という名称になり今まで以上に子どもの理解や保護者が安心して預けられるように職員も学習を積み重ねていく必要があると考えている。国の制度の中で支援員の資格を得るための研修も5年目に入り、職員全員が研修を受け支援員としての自覚をもつとともに、自ら学習に取り組んでいけるようにしていきたいと考えている。

2. 研修～別表3「職員研修計画」

III. 備品・消耗品整備の考え方

備品や消耗品の整備については、必要に応じ確保し、運営に支障がないよう万全の方法をとり、その使用については、無駄がないように配慮していく。

- ・市からの備品リストは各施設に保管し新規、廃棄などわかりやすくしていく。
- ・法人の備品もリストを作成し管理していく。
- ・購入品は毎月エリアで統一して購入し、無駄がないようにしていく。

IV. 苦情処理の体制

1. 保護者とはお迎え時や懇談会などで話す機会を設け、苦情などがあつたときは、早めに対処していく。
2. 苦情は日誌に記載するようしていく。
3. アンケートによる苦情は改善できるところは改善し、懇談会などで保護者に伝えるようしていく。
4. 地域住民とは日常からあいさつをかわし、関係を良好に保つようしていく。

V. 保護者及び地域住民との連携についての考え方

1. お迎え時に保護者と話し、信頼関係をつけながら相互理解していく。
2. 学童での様子を伝えるとともに保護者同士で子どもの悩みなど話せる機会として懇談会を定期的に行う。
3. 保護者会と協力し、保護者同士のつながりもつくっていくように努力する。
4. エリア合同保護者会を開催し、お互いの保護者会の情報交換や学童に対しての意見など話し合う場として年2回行う。
5. 福祉センターの運営委員会、老人会、町内会との連携を行い、児童保育センターの活動に理解をしてもらえるように努める。
6. 地域の方とは日常のあいさつをこころがける。(子どもたちにも伝えていく)

VI. 施設の保守点検の方策

1. 日常的に使用する遊具などについては、毎日保守点検を行い業務日誌に記載していく。
2. 施設設備に関しては、職員会議で確認し整備、修繕が必要なものがないか確認していく。
3. 修理を要するときは、必要に応じて帯広市と協議し対応します。

VII. 施設環境整備の方策

1. 職員会議の中で施設設備と同様に環境整備についても確認し、必要な整備があれば対処していく。
2. 遊具の点検は毎日業務日誌に記載していくことで安全性など確認していく。
3. 保護者会と協力し、草刈り、遊具の修繕、園庭整備など必要のことを協議し環境整備の行事として行っていく。
4. 除雪は職員で協力体制をつくって行う。
5. 施設で対応できない修繕に関しては、帯広市と協議しながらすすめていく。

VIII. 保護者と児童保育センター

保護者の方々が安心して働いていただくために、建園精神の保育理念、運営方針、保育目標に基づき保育を行ってきた。今後とも安全安心、日常対話、懇談会、保護者会行事などで保護者との信頼関係を築きながら、子どもたちを育てるために詳細に見直しなど図り、実践していきたい。

IX. 保育行事等年間スケジュール～別表4